

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線42354
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成27年12月17日

リコール届出番号	3725	リコール開始日	平成27年 12月18日	
届出者の氏名又は名称	スズキ株式会社 代表取締役 鈴木 修		問い合わせ先：お客様相談室 TEL 0120-402-253	
不具合の部位（部品名）	電気装置（ワイヤーハーネス）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① 始動装置において、イグニッションスイッチリード線とワイヤーハーネスを接続するカプラの構造が不適切なため、使用過程において、当該カプラ内部の端子が、被水により腐食することがある。そのため、そのまま使用を続けると、腐食が進行して導通不良となり、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。</p> <p>② ワイヤーハーネスの配索設計が不適切なため、燃料タンク裏面と干渉していることがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行中の振動によりワイヤーハーネスの被覆が摩耗して短絡し、エンジン不調となり、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。</p> <p>③ バッテリーのアース端子の固定位置が不適切なため、使用過程において、アース端子に電気が流れにくくなることがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、スターターモータが作動せず始動不能となるおそれがある。</p>			
改善措置の内容	<p>① 全車両、カプラに防水カバーを追加するとともに、カプラ端子部を点検し、腐食を確認した場合は、イグニッションスイッチリード線とワイヤーハーネス一式を交換する。</p> <p>② 全車両、ワイヤーハーネスを点検し、配索を適切な位置に変更するとともに、被覆に摩耗を確認した場合は、補修またはワイヤーハーネス一式を新品に交換する。</p> <p>③ 全車両、アース端子を正規な位置に固定するとともに、外装チューブを耐熱性向上品に交換する。</p>			
不具合の件数	① 1件 ②0件 ③3件	事故の有無	無し	
発見の動機	①、③市場からの情報による。②海外市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者への周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、シートレール部にNo.3725のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スズキ	EBL-VU51A	「Vストローム」	VU51A-100007～VU51A-101029 平成26年5月20日～平成26年9月19日	1,023	① ② ③
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年5月20日～平成26年9月19日	(計1,023台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。